

平成27年度 安井小学校の学校教育方針

1 『学校教育の基本構想』

(1) 学校教育目標

『夢を抱き，共に，生き生き学び合う 安井の子』の育成

(2) 重点目標

- ・すべての子どもに「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育む
「確かな学力」・・・『**確かな考え**』
「豊かな心」・・・『**やさしい心**』
「健やかな体」・・・『**たくましく頑張る力**』
- ・子ども一人ひとりが自らのよさや可能性を発揮しながら自己実現ができるように，個性を生かす教育を推進する

(3) めざす子ども像

や す い の 子

- **や**・・・やさしく思いやりのある子（豊かな心）『やさしい心』

人を大切にする心

- * **あ**いさつができる子
- * 友達を思いやり仲良くできる子
- * 「人」「もの」（自分のもの，学校のもの，生命あるもの）を大切にする子
- * きまりを守って行動する子
- * **じ**かんを守って行動する子（「時間」を大切にする子）

- **す**・・・すすんで学習する子（確かな学力）『確かな考え』

- * 主体的に学習に取り組む子
- * 人の話をよく聞き，自分の思いを表現できる子
- * 読書に取り組む子

○ **い**・・・生き生き元気な子（健やかな体）『たくましく頑張る力』

＊めあてや目標をもって頑張る子

＊自分自身のことや自分の役割をきちんとできる子

み・・・身支度・身の回りをきちんと揃える・心を整える

・靴のかかとを揃えてきちんと奥まで靴箱に入れる

・保健室や家庭科室などで靴を脱ぐときはきちんと向きを変えて揃える（くるりんぱ）

・トイレのスリッパを揃える。揃っていないかったら揃える

・廊下は右側を静かに歩く

＊**そ**うじを頑張る子

＊粘り強く最後まで頑張る子

み **そ** **あ** **じ** の取組を進めています！

（４） めざす学校像（学級像）

○ 一人ひとりの子どもを徹底的に大切に作る学校

○ 子どもに「学力」と「生きる力」をはぐくむ学校

○ 子ども・保護者・地域に信頼される学校

・子どもたちと教職員の関係、子ども同士の間関係が信頼感で結ばれている学校（学級）

・すべての子どもの個性と能力が正しく評価されている学校（学級）

・すべての子どもの「心の居場所」が保障されている学校（学級）

・すべての子どもが自己実現の喜びを味わうことができる学校（学級）

そのために、すべての教育活動を通して、

「子どものもっている力（個性）を尊重する」

「子どものもっている力（個性）を伸長させる」

そして、すべての教育活動を通して、

『個の可能性を最大限に生かす教育の実現を目指す』学校（学級）づくり

（５） めざす教職員像

○ 子どもに対する愛情や思いやりをもった教職員

○ 教育の専門家としての実践的指導力を身に付けた教職員

○ 職に対する使命感や誇り、情熱、向上心をもった教職員

○ 何事も前向きに、明るい態度で取り組む教職員

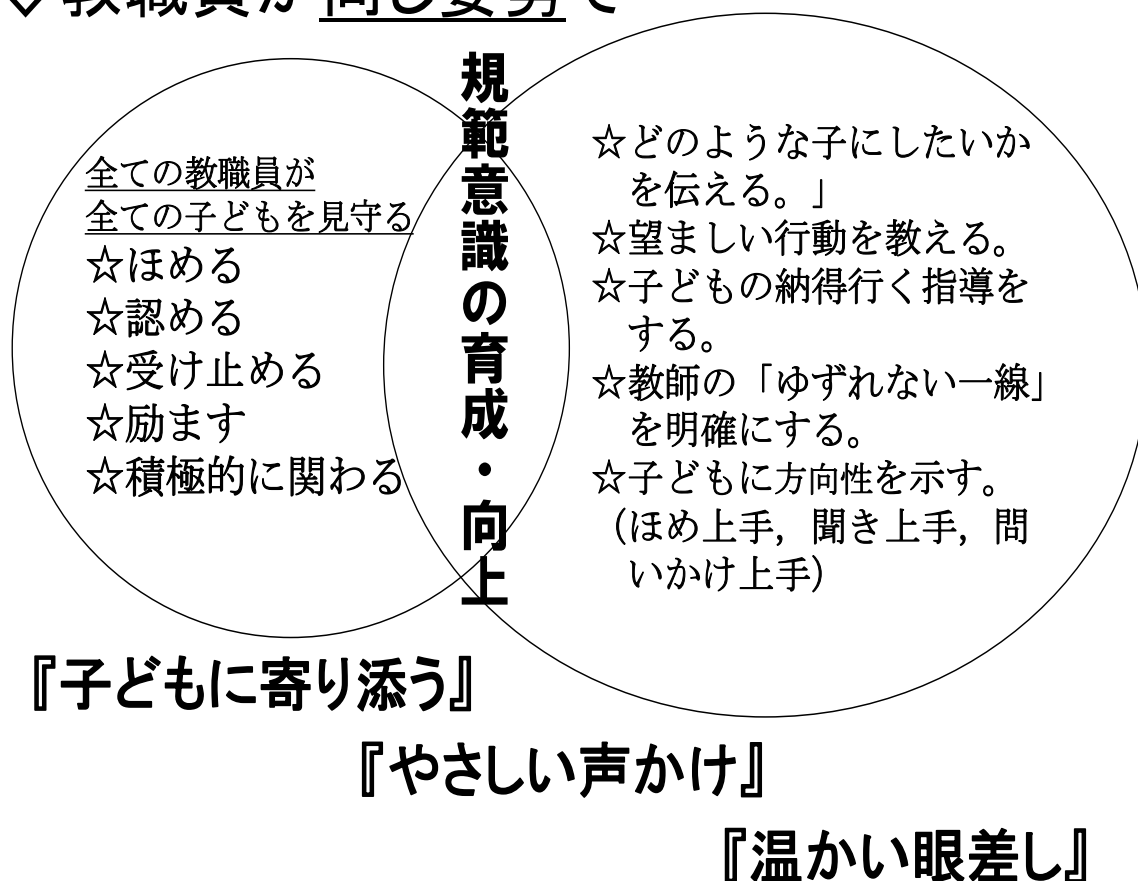
・一人ひとりの子どもを大切に、愛情をもって接する教職員

・研究、研修等を推進し、意欲と創造性に満ちた教職員

・保護者、地域の人、同僚との連携を深め、信頼される教職員

組織力を高めることが一番！

◇教職員が同じ姿勢で



2 『学校経営方針』

(1) 学校は、「一人ひとりの子どもを徹底的に大切にしている教育実践」を展開する。

- * 子どものよさや可能性を最大限に伸ばす指導の充実と共に、一人ひとりの子どもが存在感を感じ、生き生きと活動する教育活動を推進する
- * 「見逃しの無い観察」「手遅れの無い対策」「心のこもった指導」を実践する
- * 家庭の教育力の向上、家庭学習充実への課題を明確にし、具体的・積極的な働きを行う
- * 子どもが自分の夢や目標を抱き、その実現に向けて、今、努力すべきことへの十分な助言や支援をする

(2) 教育実践の核は、1 時間 1 時間の授業である。そのため、日々の授業実践を大切にする

- * 子ども・保護者との信頼関係は「授業」で決まる。
- * 基礎・基本の確実な定着と自ら学び自ら考える力の育成を図る。
- * 体験的な学習や問題解決的学習の充実を図り、子ども自らが主体的に取り組む、解決しようとする力を身に付けさせる。
- * 「授業が変わる・学校が変わる・子どもが変わる」「授業は子どものくらしとともにある。」よりよい授業づくりに励むことは、子どものくらしにつながるあらゆる教育活動の質を高め、学校のすべての教職員の仕事の質を高めることになる。授業力の向上は学校力の向上につながる。

○ 教師は授業で勝負する。教師の最も大切な仕事は、よりよい授業を創ることである。

(3) 校長を中心に組織的に校務を処理し、教育を推進する。各教職員が校務分掌の役割を自覚し、連携を深める。

- * 報告・連絡・相談を密にする
- * 子どもを学級担任だけで育成するのではなく、学年・学校組織として見守り、指導・育成していく。

◎校務に関して（本気で！全力で！総力で！）

—チーム安井の一員であることを大事にする—

※教職員の姿を通して子どもを育てる！

3 学校教育目標の具現化に向けて----- ～共通理解・共通実践の充実を図るために～

(1) 人権指導の取組の充実について

- ◎・いじめを許さない集団づくり（問題の早期発見・早期対応）
 - ・全教育活動を通しての人権指導（組織的・系統的な取組）
 - ・道徳的な思考力・実践力を培う指導の位置づけ（心の教育・道徳の充実）
 - ・おもいやりを育てる指導の工夫

(2) 生徒指導の取組の充実について

◎ (児童理解を深め、受容と共感の姿勢で子どもとのかかわりを深める)

・規範意識の育成

— 安井小のルールブックを広めていく —

【み・そ・あ・じ運動】

【人のために何かを頑張る意識を高める】(※清掃指導の徹底)

【ありがとう・感謝の心を大切にする】

【心を鍛え・心を育てる指導】

(※清掃指導の徹底・道徳指導の充実)

【学習規律・生活規律の育成】(けじめのある態度を求めて)

【夢をもたせる取組】

*『自分を大切に 人を大切に ものを大切に』

- ・心の居場所づくり(安心・安全な教室づくり)
- ・行動の裏にある「なぜ」を問う関わりを重視する
- ・おもいやり、正義感、協調性を育てる指導
- ・自己肯定感を高めるための指導
- ・ソーシャルワーク(CSS)の実践・・・※道徳との関連を図る